

「危険な空き家」対策提言へ 有識者の検討委が始動



空き家対策について議論を交わした検討委の初会合

長年放置され倒壊の恐れなどがある空き家への対応を審議する「札幌市空き家対策検討委員会」の初会合が3日、市役所で開かれた。

市は、少子高齢化の進行

に伴い管理が不十分な空き家が増えていることを受け、本年度から対応に本腰を入れており、検討委設置はその一貫。弁護士や町内会長など外部の有識者5人で構成し来年1月までに4回の会合を開き、市への提言をまとめる。

委員からは「戸建てへの対策を前提としているが、集合住宅も見据えるべきだ」「解体や撤去だけでなく、民間企業などと連携



■ニュース・話題は
報道センター
電話 210・5555
FAX 210・5556
sapporo@hokkaido-np.co.jp
■ご購入の申し込みは
0120・464・104
■広告の問い合わせは
広告局 210・5710

屋根工事
(株)三浦工業 札幌営業所
☎011-594-8655
東区東苗穂3条2丁目3-31

＋ 病院 4日
◇けが(災害)救急病院(受付時間午前9時～翌朝9時)
▽札幌外科記念病院(中央区南23西15、563・0151)
▽勤医協中央病院(東区東苗穂5の1、782・9111)
◇夜間急病(急患のみ)
▼内科・小児科(午後7時～翌朝7時) 耳鼻咽喉科・眼科(午後7時～同11時)
▽札幌市医師会夜間急病センター(中央区大通西19、641・4316)
▼精神科(午後5時～翌朝9時、土日祝は24時間)
▽札幌市精神科救急情報センター(204・6010)
▼産婦人科(相談のみ、午後7時～翌朝7時)
▽札幌市産婦人科救急相談電話(622・3299)

して活用法も考えるべきだ」などの意見が出た。
第2回会合は8月に開く。(山田宏茂)

コンビニ強盗未遂 容疑者の画像公開

札幌市東区のコンビニエンスストア「セイコーマート元町駅前栄ビル店」で2日深夜、ナイフのようなものを持った男が現金を奪おうとした強盗未遂事件で、札幌東署は3日、店の防犯カメラに写っていた容疑者の男の画像を公開した。



防犯カメラに写った容疑者の男の画像(札幌東署提供)

同署によると、男はコンビニ前をうろつき、客がいないことを確認して入ったという。女性店員がレジカウンター内にあった木刀を取り出し、ほかの店員を呼ぶと、逃走した。
男は20～30代で、身長約165センチの細身。黒色の上着とスポンを身に着け、灰色のヘアバンドで髪を束ねていたという。情報は同署☎704・0110へ。

強盗には冷静に コンビニで訓練

札幌市豊平区のコンビニエンスストア「ローソン札幌美園1条店」で5月、包

空き家対策初の検討会

札幌市 解消へ独自補助めざす

札幌市は3日、増え続ける空き家の問題に対応するため、5人の外部識者らで構成する検討委員会を開いた。1回目となる今回の会合では北大大学院工学研究院の森傑教授を委員長とし、市内の空き家の現状や法制面などの問題点を議論した。今後、約半年かけて意見をとりまとめ、空き家問題解消のための補助制度の導入など、市独自の対策を打ち出す方針だ。

国が5年に1回実施する調査では、札幌市内には2008年時点で約1万6600戸の放置された空き家があると推計される。老朽化して危険な空き屋に関して市が受けた相談件数は13年度で55件。5年で11倍に増え、今回の会合では空き家がさらに増えていると思われる現状が示された。

問題の解消を難しくし、壊すのは困難」といった指摘があった。物件が共同住宅の場合はさらに撤去が難しくなるという。

札幌市空き家対策検討委員会は今後、8、10月と年末年始の3回開く。

安全投資計画 9

JR北、車両・レ

北海道旅客鉄道（JR北海道）は安全投資や修繕費の5カ年計画を9月に取りまとめる。同社の

年度内に提言まとめ

空き家対策検討委 初会合

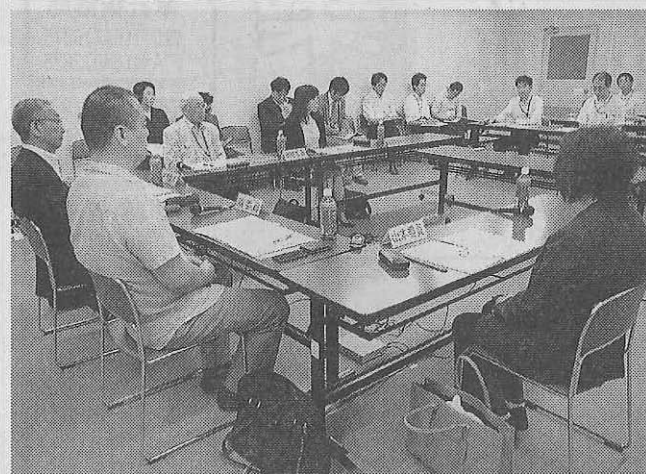
市都市局

市都市局は3日、市役所本庁舎で空き家対策検討委員会の初会合を開き、市内での空き家の現状や抱える課題を共有した。2014年度中に全4回の会合を経て提言をまとめ、15年度スタートを目指す空き家対策制度に反映させる考えだ。

委員は5人で構成した後、委員長に北大の森傑教授を選出。はじめに事務局が、市

内の空き家の概況を説明。総務省の住宅土地統計調査では、市内の空き家を13万5560戸と推計。市が町内会を対象に実施したアンケートでは、不適切な管理下にある空き家が357件に上ることが分かっている。このうち、所有者不在または不明なケース、金銭的問題により解決が進まないケースなどを紹介した。

高橋征夫委員は、自身が会長を務める東区内の北都町内会の状況を報告。空き家への積雪が原因で隣家の外壁が損傷し、その修繕費用を隣家が負担しなければならなかったことや、400坪もの灯油が4年間にわたって放置されているにもかかわらず、個人財産などの理由で手が付けられないなど、切実な状況を訴えた。



空き家の課題を確認した。

次回は8月を予定し、不適切な管理下にある空き家の認定基準や自主的な解消に向けた対策について、市の考えを踏まえ意見交換する予定だ。